

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2014-12-01 No. 60



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所
<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: CISPR 16-1-2 Ed. 2.0 (2014-03) 測定機器 伝導妨害測定用結合デバイス	3
IEC: 新規規格リスト	8
ISO: 新規規格リスト	10
国際テーマ: UNECE: 規制 No. 0 第2草案 国際全車両型式承認 (IWVTA) 統一規定	11
国際テーマ: UNECE: 規制 No. 10 (電磁両立性) 第05 シリーズ発行 2014/10/16	12
国際テーマ: 弊社会長がサウジアラビア食品医薬品庁 (SFDA) を訪問	12
国際テーマ: Nemko in Brief からの抜粋	13
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	14
<hr/>	
USA: FCC: KDB: DFS 要求の対象である U-NII デバイスの適合性を証明するには?	16
USA: FCC: Part 15: 免許不要個人通信サービス UPCS デバイス 委員会規則の修正	18
USA: FCC: Part 15,74: TV バンド及び 600MHz 帯スペクトルの追加的免許不要利用	19
USA: FCC: Part 74: ワイヤレスマイクロフォン規則制定提案の通知を採択	19
USA: NRTL: NRTL プログラム試験規格のリスト及び NRTL 認定範囲の変更提案	20
USA: FDA: IEC 60601-1-2 第4版を公認コンセンサス規格に追加	20
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	21
USA: ANSI/UL: 新規規格リスト	22
USA: IEEE: 新規規格リスト	24
カナダ: 情報技術機器規格等 8 件規格: 電子ラベリングを許容するよう変更: 2014/11	25
カナダ: 官報通知 SMSE-019-14: RSS-Gen, Issue 4, 及び RSP-100, Issue 10 の発行	26
<hr/>	
EU: 整合規格リスト発行: R&TTE 指令	27
EU: R&TTE: 技術ガイダンスノート 16: GPS/GNSS、及び他の受信専用機器に関して	27
EU: 玩具安全指令: 欧州委員会、ドイツに EU 玩具法制をフルに実施するよう要請	28
EU: LVD ADCO LED 及びコンパクト蛍光灯適合状況調査プロジェクト 2014/10	29
EU: CENELEC: 新規規格リスト	30
EU: ETSI: 新規規格リスト	32
ニュージーランド: 49 MHz 短距離デバイス 新規一般使用者スペクトラムライセンス	34
<hr/>	
中国: CQC: 低圧無効電力自動補償制御器の任意認証の新版規格及び認証規則	35
中国: CQC: 『電気器具用外部電源アダプタ等の安全及び電磁両立性認証規則』の改訂	35
中国: CQC: 風力発電機セットの認証業務の開始に関する通知	36
中国: CQC: 一般照明用無指向性安定器 LED ランプの省エネ認証規則の更新	36
中国: CQC: 一般照明用電球形蛍光灯製品の新版性能規格の実施: 省エネ認証	37
中国: 新規規格リスト	37
台湾: 新規規格リスト	37
韓国: 電気用品安全管理運用要領の改正 (案) 立案	38
韓国: 電磁両立性試験方法の改正案と電波環境測定等に関する規定の改正 (案)	39
<hr/>	
総務省: ワイヤレス電力伝送システムに関する技術的条件 意見募集	39
総務省: 「電波政策ビジョン懇談会 最終報告書 (案)」に対する意見募集	40
総務省: 電波の生体への影響に関する中間報告書ワーキンググループ」第3回会議資料	40
経済産業省: IEC: 2014 年 IEC 東京大会の概要 (速報): 具体的成果例	41
経済産業省: 「電気用品の範囲等の解釈について」の一部改正に対する意見募集	44
経済産業省: 「電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について」の一部改正	44
コスモス・コーポレーションからのご案内: 動電式振動試験装置導入のお知らせ	15
ちょっといっぱく 小クイズコーナー EN 60065 と EN 60950-1 の適用終了日について	26
社長の独り言	45



IEC: 規格解説: CISPR 16-1-2 Ed. 2.0 (2014-03) 測定機器 伝導妨害測定用結合デバイス

CISPR 16-1-2 Ed. 2.0 が 2014-03 付けで発行された。

- 本第 2 版は、2003 年発行の第 1 版、及びその修正 1 (2004) 及び 修正 2 (2006) を、キャンセルし置き換える。本版は、以前の版に対し、以下の大きな技術的変更が加えられた:
 - a) AAN に対する CISPR 22 からの要求事項が複製され、本規格に組み込まれた。CISPR 22 ではこの AAN は ISM と称している
 - b) 周波数領域 30 MHz - 300 MHz での妨害電圧測定用 CDNE 及び関連機器への要求事項規定が追加された。

国際テーマ: UNECE: UN 規制 No. 0 第 2 草案 国際全車両型式承認 (IWVTA) 統一規定

- UN 規制 No. 0 第 2 草案: 本 UN 規制は、1958 協定の枠組み内の国際全車両型式承認 (IWVTA) スキームを規定する。この IWVTA スキームにより、契約当事者は、規制を順守して、制限されたレベル (L-IWVTA) に対して、又は、ユニバーサルレベルに含まれる広範な技術トピックス(U-IWVTA)に対して承認を発行することが、可能である。

USA: FCC: KDB: DFS 要求の対象である U-NII デバイスの適合性を証明するには?

- 委員会は Part 15 に基づいて動作する U-NII デバイス (FCC 14-30) の規則を改正した。改正規則の発効は 2014 年 6 月 2 日。新しい U-NII 規則への適合を証明するためのガイダンスを提供するため本 KDB 文書が作成された。委員会は移行期間を設け、その期間中は本項記載の条件を満たすことを条件として、デバイスが異なる規則に基づいて認可(approved)を受けることができるもの、としている。

EU: R&TTE: 技術ガイダンスノート 16: GPS/GNSS、及び他の受信専用機器に関して

EU: LVD ADCO LED 及びコンパクト蛍光ランプ適合状況調査プロジェクト 2014/10

- 試験製品の全体の非-適合率は大変高い: 適用される EN 規格の技術要求事項と EU 法制の管理的要求事項両者を考慮に入れると、試験製品の 86 %が非適合であった。

経済産業省: IEC: 2014 年 IEC 東京大会の概要 (速報) について

- IEC は、毎年、IEC 大会として、総会、組織運営等の会議と規格開発を行う専門委員会等を開催している。本年の IEC 大会は、11 月 4 日から 15 日まで東京国際フォーラムで開催されている。
- 2014 年 IEC 東京大会における国際標準化活動については、53 分野の専門委員会/分科会 (TC/SC) を招致した。これらの会議における、日本が主導的役割を果たしている具体的な成果例が、IEC 東京大会の大会テーマである "Integration toward a Smarter World" に関連する 電力・スマートグリッド分野、家電製品分野、半導体・光ファイバ分野、電子技術分野に分類し、報告されている。ここではその一部を抜粋報告する。

社長の独り言

2014年11月20日
濱口 張馬

年末がすぐそこまで来ております。月日が経つのが本当に短く感じるようになってきましたが、皆様如何お過ごしでしょうか？気温もぐっと下がりはじめましたので、体調管理にも気をつけたいですね。日本には政治の解散風も吹いているようですが・・・。

今年もスポーツ大会を行う事が出来ましたので、集合写真を掲載させていただきます。大会最後に集合写真を撮ることが記念にもなりますし、非常に好きな瞬間です。嬉しい事に、社員の子供さんも毎年参加いただけるのですが、成長の早さには皆驚かされるばかりです。子供の成長に比例するかのように、自分の体力が減っていることを実感します。日ごろデスクワークばかりしていると、筋力・体力共に衰えるばかりですね・・・。椅子に座りながら、筋力を無意識に鍛えるような商品があれば是非紹介いただきたいと思います。



- ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション 業務推進部まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行：年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格：各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC& Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2014-12-01 (No. 60)

発行所：株式会社コスモス・コーポレーション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人：濱口張馬

編集人：倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2014 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。